

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度第2回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	令和8年3月24日(水曜日) 午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟 4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 野口委員長 永井委員 覺張委員 石塚委員 横澤委員 佐々木委員 神保委員 長谷川委員 高橋委員 鈴木委員 大倉委員 山崎委員 米山委員 (事務局) 福祉保健部長 介護保険課長 福祉総務課長 長寿はつらつ課長 健康増進課長 長岡市社会福祉協議会常務理事兼事務局長ほか関係職員
5 欠席者名	井佐委員 小林委員 郷委員 稲垣委員 船越委員
6 議題・報告	議題(1) 第9期計画の進捗管理について 報告(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について 報告(2) 長岡市の現状について
7 資料	別添のとおり
8 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
介護保険課長補佐	○資料確認等 ○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者なし。 会議が公開であることの説明。
委員	○新任委員の紹介 ○新任委員あいさつ 12月に就任した。このような会議は初めて参加するため、皆さんに教えていただきながら勉強していきたい。どうぞよろしく願いいたします。
委員長	(ここからは委員長が進行) ○議題1「第9期計画の進捗管理について」事務局から説明願う。
担当課長	(資料No.1-1、1-2をもとに、健康増進課長、長寿はつらつ課

<p>委員長</p>	<p>長、福祉総務課長、介護保険課長が主要事業を説明。)</p> <p>ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料No.1 - 1に「健康診査の充実」とあるが、健康診査の受診方法は、案内があった高齢者の方等が、いつ受診しても良いのか。</p>
<p>健康増進課長</p>	<p>健康診査は事前予約制で実施している。健康診査の実施日や会場の周知は、市政日より4月号とともに「健康カレンダー」を全戸配布している。</p> <p>予約方法は電話とインターネットで、2か月ごとにそれぞれ定員枠を設け、順次受け付けしている。</p>
<p>委員</p>	<p>会社員時代は、決められた日程で健康診査を受けたが、退職してからは自分で予約しなければならない、少しおっくうであるため、特定の健診日を通知してもらいたいとの意見を聞いた。高齢者の方は真面目な方が多いため、例えば、地区ごとに健診案内が届けば、同じ町内の人と「じゃあ水曜日行こうか」という話になるとのアイデアをいただいた。受診率向上のために、市が受診日を決める方法もあるのではないか。</p>
<p>健康増進課長</p>	<p>御意見の実施方法もあるが、市が実施している健診の対象者は高齢者だけでなく、関係する保険・法令等がすべて異なるため、すぐに取り入れることは難しい。今年度は、健康カレンダーを全戸配布したほか、対象となる世帯には健診案内を個別に送付した。その中で、受診のない方や受診予約のない方へ、2～3回の受診勧奨通知を送り、健診申し込みを待っている。特定健診に限って言えば、過去最大の受診率を誇っており、年々受診数は増えている。</p> <p>インターネット予約も定着しており、多くの高齢者の方からの予約を受け付けている。一長一短あるが、もうしばらくは現在の実施方法を続けていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>健診対象が高齢者だけでなく、事務がかなり煩雑になることを理解できた。ただ、会社員時代は健康診査を毎年受けていたが、退職してからは受診しなくなり、たまたま受診していない間に病気が見つかり、毎年健診を受けていればという話をよく聞く。健診のPRを含めて、受診率向上に取り組んでもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>認知症、MC I等の早期発見・治療支援は大事なことだと思う。前回の会議後に、市から認知症に係る講座等のお知らせがスマートフォンに届き感心していたところである。身近にいるMC Iの人を見</p>

	<p>ても、社会性が乏しく、「耳が聞こえにくい」や「人と喋らなくなった」等が大きな原因になっていると思う。市から届いたお知らせは、全部、長岡地域での開催であった。栃尾地域では、山間部に行くほど交通手段がなく、なおかつ一人暮らしで他者との接触がなくなっている人が増えてきている。そういった高齢者が、一人暮らしを維持できるようにと考えると、開催地域を広げて支所地域でも実施していただきたい。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>御意見いただいた「もの忘れ相談会」は、確かに長岡地域だけで開催していた。本事業は今年度初めての試みであったため、今後これをどう広げていくか検討させていただく。ありがとうございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>○報告1「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について」説明願う。</p>
<p>委員</p>	<p>(資料No.2-1、2-2をもとに説明。) ○調査票の配布状況、回答率等の報告。 ○地域とのかかわり、認知症・MC I の認知度、フェニックスネットの認知度等を中心に結果を説明。</p>
<p>委員長</p>	<p>米山委員ありがとうございました。ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>(町内会・自治会を除く)地域のサークルクラブ活動等について、「参加している」の回答者は10数%だが、その下の質問「(2)あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか」は、「ぜひ参加したい」・「参加しても良い」の回答者は5割ほどいる。参加を希望している人が5割もいて、実際に参加している人が少ないということは、「どうやって地域の活動に参加したら良いのかよく分からない」ということが調査から見えていると考える。市内サークルクラブ等の一覧を作成したり、地域を越えて活動に参加できることを周知したりすると、サークルクラブ等への参加率向上につながるのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回示していないが、年齢別の集計結果では、65歳から69歳の方が「参加したい」と多く回答していた。若い年齢ほど、何らかに「参加しても良いよ」というような状況が見受けられた。また男女別にみると、男性は46%、女性は42%が「参加したい」・「参加しても良い」と回答していた。若い人ほど参加したいと回答があるため、その機会を作った方が良いと考える。</p>

委員	<p>意欲がある人が参加できるような仕組みができると良いと思う。 ありがとうございます。</p>
委員	<p>資料No.2-1に、「介護・介助の必要になった主な原因」の集計があるが、要介護度認定者の原因疾患と比較しても異なる回答に驚いたが、要介護認定を受ける前でも、脳出血や骨折・転倒と回答していることが問題だと思う。同様に「現在治療中の疾患」では、高血圧と回答している人がダントツで高く、要介護認定に連動していることが分かった。健診等でも、「自分は高血圧じゃない」と認識している人が多く、介護保険を利用する前段階から、「高血圧は病気なのだ」ということを意識付けていかなければならないと思った。</p> <p>もう一つ、フェニックスネットについて、民生委員の活動のなかで、地区の方にフェニックスネット加入の説明をしており、身近な民生委員が勧めることはすごく大事だと思う。ただ、見守り対象となるすべての人に説明することは難しいため、例えば、町内回覧等で周知し、興味があった人に民生委員が説明するといった仕組みの方が良いと思う。民生委員が該当者を決めて説明するのではなく、加入希望者に説明した方が理解も早いと思うため、検討してもらいたい。</p>
健康増進課	<p>一点目について、市の健康診査を受診した方には、健診結果とあわせて、高血圧や糖代謝異常等の数値が高かった人へ、市の保健師や管理栄養士による保健指導のお知らせを送っている。栄養・休養・運動といった指導受けてもらうようにしている。</p> <p>また、長岡市は、塩分摂取量が多い・運動歩数が少ない・野菜摂取量も少ないといった三つの弱点がある。議題1で紹介した健康アプリに3食の食事記録を登録したり、実施した運動情報を記録したりして、個人のライフログデータを可視化して、健康増進につなげられるように取り組んでいる。特に、40代から60代の働き盛り世代に向けて、健康3要素を改善し、介護保険制度にお世話にならないように周知・啓発の強化を行っている。</p>
長寿はつらつ課長	<p>フェニックスネットの周知方法について、日々頭をひねっているところである。昨年度、利用が伸びていない別の事業で、PR方法を工夫したところ、利用が伸びた事例があった。今後も周知方法を研究し、取り組みを進めてまいりたい。</p>
委員長	<p>○報告2「長岡市の現状について」事務局より説明願う。</p>
介護保険課給付係長	<p>(資料No.3をもとに説明)</p>

委員長	<p>ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。 (質問なし)</p>
委員長	<p>全体を通して、質問等はあるか。 (質問なし)</p> <p>この3月末で、委員任期が終了となる。最後に、今日出席の皆さんから一言ずつ感想などをお話しいただきたい。</p>
委員	<p>3年間ありがとうございました。今回、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施する中で、次期計画を策定するにあたり、さまざまな介護予防の取り組みの方向性が見えてきたと感じている。計画策定に向けて、今後ともよろしく願いたい。</p>
委員	<p>会議に参加したことで、長岡市が抱える課題や行政の取り組みを知るとともに、自分に何ができるのかを考える貴重な機会となった。ありがとうございました。</p>
委員	<p>この3年間の流れの中で、寺泊地域では、公共交通機関がなくなった地域もあり、高齢者の移動手段がなくなり、非常に厳しい状況であると感じている。また、昨年度の能登地震の際の避難のあり方などを通して、さまざまな新たな課題が見えてきた。これまで会議に出席させていただいたことも含め、今後も課題は多く残っていると感じているため、これからもよろしく願いたい。</p>
委員	<p>今期初めて本会議の委員として参加し、長岡市の課題や高齢者の状況を広い目でみることができた。歯科医師という立場で、普段は個人を対応しているが、会議を通じて全体を見ることができたと感じている。</p>
委員	<p>市内の老人クラブ数がだんだんと減ってきているが、老人クラブは、お互いに助け合える関係性ができる良い活動だと考える。</p> <p>会に出てくる人の多くは元気な方で、本当は参加してもらいたい人が参加できるように取り組んでいきたい。</p> <p>また、支所地域の方が活発に活動しているが、市の中心部は老人クラブが特に少ない状況である。私自身も周りに声がけしていきたい。</p>
委員	<p>商工会議所は企業が会員となっているため、少子高齢化が非常に大きな課題となっている。本会議では、高齢者という切り口でも、さまざまな分野や事業があることを改めて勉強させていただいた。</p>

委員	<p>「老いを考える会」や「認知症の人と家族の会」をはじめ、地域で福祉活動を行っている。この会議に出席して、長岡市の現状を知ることができ勉強になった。会議で得た知識や情報を自分の所属でも生かしていければと思っている。</p>
委員	<p>本委員を通じて、初めて老人関係にかかわった。私自身は、地域包括支援センター運営部会にも所属しており、地域包括支援センターの皆さんが一生懸命に活動していることがよく分かった。</p>
委員	<p>労働組合を通じて、介護現場の働き方改革や介護離職防止に取り組んでおり、最近では、事業者の理解や制度が進んできたと思っている。ただ、そういうところにまだつなげられない人がポツポツいるとの話も聞くため、制度全体を浸透させるのは難しいが、私の方でも引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>また負担と給付は、現役世代の負担といった部分でも、国を挙げての議論されていることから、国の動きを見据えて、引き続き取り組みをお願いしたい。</p>
委員	<p>会議に参加して、在宅で母を介護していた際に、「もっといろいろ考えられたな」とか、「もっといろいろ要望したかったものもあったな」などと思った。</p> <p>今年度の民生委員の一斉改選で半分ほど新人になっている。地域に密着して活動する中で、高齢者にかかわるさまざまな制度を勉強していかないとだなと感じた。これからも皆さんと協議しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>本会議の委員を2期務めたさせてもらった。長岡市の計画や調査を含めての取り組みがよく分かって良かった。今後、仕事の中でも、様々な事業を参考にしたり、ケアマネジャーとしての立場から意見を言わせてもらったりしたいと思う。</p>
委員	<p>普段は病院で患者の病気を中心に診ているが、国は、患者の退院後の生活をどうするか等、多職種と相談し考えるように指導している。介護認定審査会に委員として出席しているが、いろいろな家庭の事情が見え、苦労されていることもよく分かった。この会議に参加し、行政の仕組みや現場で担当されている方の苦労も知ることができた。</p>
委員長	<p>3年間の任期の途中で、前任者からのバトンを受け継ぎ、不慣れな委員長という職を務めさせていただいた。非常に不安であったが、皆様の御協力により無事終わることができた。本当にありがとうございました。</p>

<p>委員長</p>	<p>いました。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しする。</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>(ここからは事務局が進行)</p> <p>閉会にあたり、福祉保健部長よりあいさつ申し上げる。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>○福祉保健部長あいさつ</p> <p>皆様本日はお忙しい中、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様、この3年間、第9期計画策定および計画の進捗管理、それから長岡市の高齢福祉施策全体について様々な課題への御意見、御提言、誠にありがとうございます。来年度は、10期の計画策定年であり、今日、米山委員からいただいた報告や、皆さんの意見を踏まえながら、次のステージに向かっていきたいと考えている。</p> <p>この3年間で、高齢者を巡る状況がまた大きく変わっている。行政としては、そういった変化にもしっかりと着目しながら、次の計画を作っていきたい。</p> <p>本日も話が出たが、市民の皆さんに「知っていただく」「理解していただく」ということが、非常に難しく、工夫が必要であると感じている。</p> <p>その一方で、早期に情報を得たり、早期発見・受診につなげたりすることで、その後の将来に大きな違いが出てくるとも考える。認知症推進計画の策定も含め、次期計画の策定に向けて、また更に工夫をしながら取り組んでまいりたい。</p> <p>本日までご出席の皆様におかれましては本当に長い間ありがとうございました。引き続きまた御意見、御提言を頂戴したい。誠にありがとうございました。</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>長時間にわたり、活発に審議いただき感謝申しあげる。ありがとうございました。</p> <p>○閉会</p>